

『つむぐ』

2020.12.15 第16号
発行 教育相談室「あした塾」

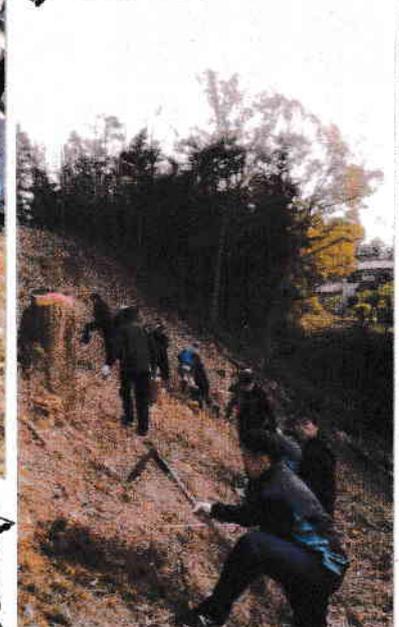
頑張る穴高校！ —コナラの植樹—

穴水高校では、2012年度からブランドシタケ「のどてまり」を栽培しています。その際木となるコナラの植樹を毎年行っています。11月24日は「どんぐりの会」の代表でもある池上悟さんの私有地の提供を受け穴水高校1年生28人が先生方と共に植樹活動を行いました。この日は「山口県活性化協議会」の人たちや県キノコセンターの平野さんの指導のもと約200本のコナラを植樹しました。慣れない作業でしたが高校生たちは気持ちのよい汗を流していました。笑顔が印象的でした。



鋸を使うとほど、ほとんど若い女子生徒はちも一生懸命に作業をしていました。

急斜面の植樹は男子が頑張りました。本数も多く大変でしたが...。沢の水は熱帯。



鹿島 桜娘下の活動です



「能登さくら駅」で知られる能登鹿島駅。地元の女性たちが作る「桜娘ズ。」が駅の花壇などの整備を定期的に行っています。

佐藤まゆみさんは「穴水町は、自然の財産にものすごく誇りがついている」と話します。「ここには、鹿島神社→鹿島駅→のと鉄道乗車といくルートがあります。観光客の方が気をつけて訪れています。」といつお話しも。穴水町は小さい町ですが財産がいっぱいあります。頑張っている人もいっぱい。

ササ川新看板

「ササ川保存会」は町花ササ川、群生地再生のため、5月に電柱看板を設置しましたが、11月には、ササ川をPRする新看板の看板を新しく設置しました。長期戦ですが、群生地の再生を期待しています。



ササ川保存会(田小路弘幸、新井弘)と町民

12月議会 傍聴記

11月30日(水)10日間の会期で12月定例議会が行われおりました。以下に議会傍聴の一部を紹介いたします。所政を考慮の資料をご覧ください。詳細は、穴水所HP・所議会会議録を見てください。(傍聴者は報道関係者を含め8名)

小坂孝彬議員 「新型コロナウイルス禍の中、中止された各種イベント」「能登長寿大仏(道路、土産物等)」について。
(答弁: 石川町長、吉田課長、中瀬課長)

伊藤繁男議員 「教育行政(複式クラス、小中一貫教育、道徳教育、平和教育、学校給食無償化等)」「子育て世代包括支援センター」「結婚新生活支援事業」「高齢者施設での面会(オンライン)」について。
(答弁: 植田局長、佐藤課長、森下課長、宮下課長)



資料写真:平成30年中学生議会の子供たちが語る各町議会の様子

湯口かほり議員 「今後の教育環境(学校規模の適正化、子どもの心理面に関する問題、教育環境の整備)」について。
(答弁: 植田局長)

山本祐孝議員 「住吉地区区長会統一要望(住吉公民館の新築に関して)」「キャスル真耕の星空観測天文台等」「小規模簡易水道(現状把握、管理と補助等)」「産業廃棄物処理対策」について。(答弁: 石川町長、中瀬課長、吉田課長)

秋のバラ



沖根の濁口弘方のバラ園。福原優子さんの「秋のバラの色がきれいだよ。」と教えてくれた。無断ではが通じずりに撮らせていただきました。

大中正司議員 「所立学校施設整備基本構想計画(事務局と委員間の論点のバリエーション、小中学校の施設規模の算定、教務長の計画への参画等)」「石川所政と政権与党との連携」について。
(答弁: 植田局長、布施教育長、石川町長)

佐藤 豊議員 「穴水所公共施設等総合管理計画(公共施設の現状把握、PFI、PPPの進捗状況、市民との協議機関)」「各施設の維持管理費」について。(答弁: 川島課長)

穴水は営業努力と継続力が

議会の論議(?)のうらみ垣間見られるのが、実に多くの所内外の人たちが言っていることは「営業努力をしているとは思えない」「何をどう始めたい...継続することこそ大事なのに、その力が存い、本当に花を見直しを計画(設備)なのに」ということです。残念な思いがあります。(T)